

—ロングセラ―を読み解く

島根県立大教授 岩田英作さん

ロングセラ―絵本を、山陰両県の専門家が読み解く企画。今回は島根県立大松江キャンパス「おはなしレストランライブラリー」代表の岩田英作さんが担当します。

10年余り前のことになり 作は、題名からして、ひとまず。出雲市古志町に、作者の谷川俊太郎さんがお見えになったことがあり

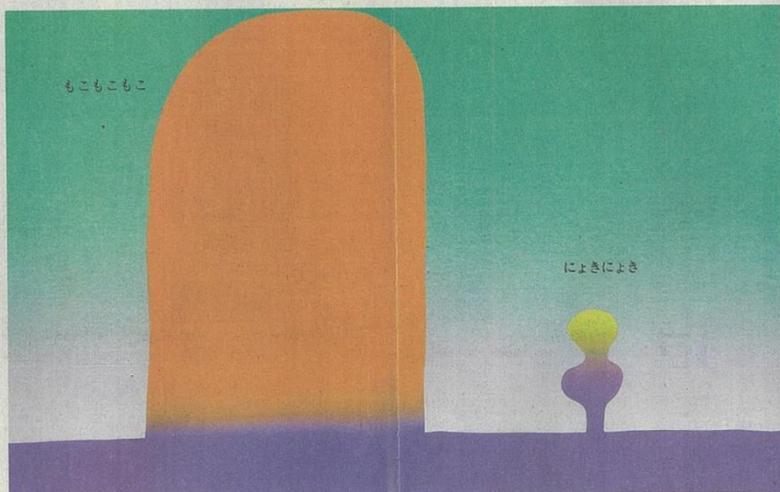
ました。主催した「ブックランド古志」のメンバーは、谷川さんとおそろいのTシャツ姿で、その胸元には「もこもこもこ」と書かれていました。現代詩を代表する谷川さんは、絵本も多く手がけ、本



「もこもこもこ」谷川俊太郎・作、元永定正・絵(文研出版)

もこもこもこ 谷川俊太郎・作、元永定正・絵(文研出版)

シンプルな世界 強い印象



「もこもこもこ」谷川俊太郎・作、元永定正・絵(文研出版)

理屈抜きで笑える

を帯びた突起が生じ、それが色を変えて膨張しはじめたかと思いきや、かたわらに新たな異形の突起が芽生え、互いに上へ上へと成長し、ついには最初の突起物

をもつ一方の突起物のみがもつてしまします。文字で説明しようとする、かようにつまらぬことになってしまします。この絵本は、はじめに元

「ばちん」といった、状態や動きを表すオノマトペばかりで、言葉というよりむしろ「音」といったほうがいいかもしれません。表現されているのは、生命や宇宙のはじまりの律動ではないでしょうか。

もうひとつ大きな特徴は、理屈抜きで笑えるところです。表紙の絵からして、この緑色のなにものかは、口を大きく開いて笑っています。



いわた・えいさく 1963年、雲南市生まれ。島根県立大人間文学部教授。松江キャンパス児童図書館「おはなしレストランライブラリー」代表。子どもが生まれ、大学で読み聞かせの授業に携わったことで「絵本愛」が芽

生えた。 次回(9月3日掲載)は「タイトルカット、似顔絵・くさなり」

